

### 第3回地域連携・多職種協働周術期管理パス普及事業 公開セミナー

日 時：2016年3月13日（日）13：00～16：45

場 所：岡山コンベンションセンター(ママカリフォーラム)1階 イベントホール

テ ー マ：医療の質評価につなげる術後疼痛管理

基調講演1	「医療の質をどのように評価するか～Quality Indicator とチーム医療～」 社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院 副院長 兼 TQM 部長 中尾浩一先生
基調講演2	「術後疼痛の概要」 岡山大学医歯薬学研究科 麻酔・蘇生学講座 助教 賀来隆治先生
シンポジウム	「医療の質評価につなげるチームで行う術後疼痛管理」 麻酔科医の立場から 岡山大学医歯薬学研究科 麻酔・蘇生学講座 助教 松崎孝先生 薬剤師の立場から 岡山大学病院 薬剤部 主任薬剤師 村川公央先生 看護師の立場から 岡山大学病院 手術部 手術看護認定看護師 佐藤真千子先生 臨床工学技士の立場から 岡山大学病院 臨床工学部 臨床工学技士 岩藤晋先生

第3回 岡山県委託事業 地域連携・多職種協働周術期管理パス普及 公開セミナーを開催しました。今回のテーマは、医療の質評価につなげる術後疼痛管理でした。

基調講演1は、社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院 副院長 兼 TQM 部長 中尾浩一先生より、「医療の質をどのように評価するか～Quality Indicator とチーム医療～」と題し、「質の高い医療」を目指す2つの活動として、Joint Commission International (JCI)に学ぶ「医療の質」へのアプローチと Total Quality Management (TQM) 部による「質」の測定、評価、改善について講演が行われました。

基調講演2は、岡山大学医歯薬学研究科 麻酔・蘇生学講座 助教 賀来隆治先生より、「術後疼痛の概要」と題し、痛みとは（術後痛の特徴）、術後痛に対する治療（薬物療法、区域麻酔）について講演が行われました。

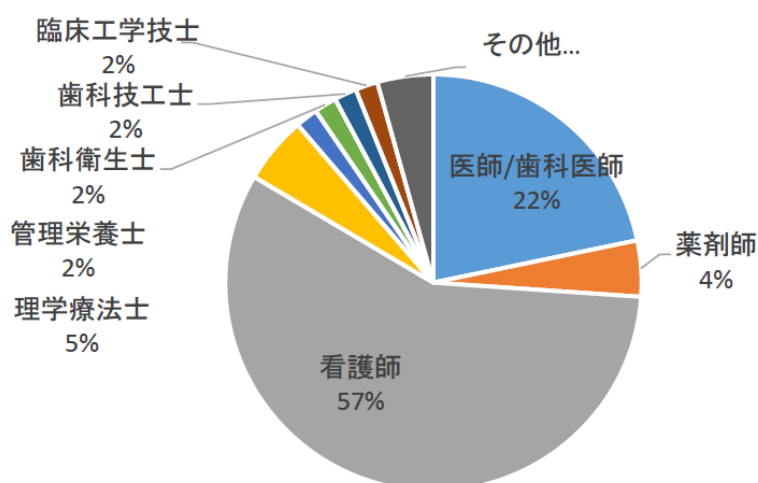
シンポジウムでは、「医療の質評価につなげるチームで行う術後疼痛管理」と題して、麻酔科医師、薬剤師、看護師、臨床工学士の立場から発表が行われました。当院では、2015年1月より術後痛ラウンドを開始しました。術後疼痛ラウンドメンバーは、麻酔科医、手術室看護師、臨床工学技士、薬剤師で構成されています。術後疼痛ラウンドは、術後患者の痛みや合併症の評価、patient-controlled analgesia (PCA) ポンプの適正使用の確認を目的としています。岡山大学医歯薬学研究科 麻酔・蘇生学講座 助教 松崎孝先生より、術後ラウンドにおける麻酔科医の役割としてチーム間の情報共有、術後鎮痛に関する評価および薬剤の調節、トラブルに関するコンサルテーションを行っていることと、実際にラウンドを行った麻酔科医師の意見や今後の課題について紹介されました。岡山大学病院 薬剤部 主任薬剤師 村川公央先生からは、術後ラウンドにおける薬剤師の役割として医薬品の適正使用の推進、患者不利益の回避、患者状況の把握および情報提供や PCA ポンプにおける有害事象調査、アセトアミノフェンの使用状況について紹介されました。岡山大学病院 手術部 手術看護認定看護師 佐藤真千子先生からは、看護師の立場で当院の周術期の取り組みや術後疼痛ラウンドの実際、PCA、硬膜外 PCA の副作用、手術部としてできること

について紹介されました。岡山大学病院 臨床工学部 臨床工学技士 岩藤晋先生からは、術後疼痛管理に用いる PCA ポンプの運用状況や PCA ポンプの管理や術後ラウンドにおける臨床工学技士の役割について紹介されました。

講演終了後の質疑応答では、活発な意見交換が行われました。医療の質評価や、術後疼痛管理について大変参考になったとのご意見を多くいただきました。

115名が参加し、そのうち29名の方が県外から参加されました。

なおこのセミナーは、岡山県地域医療介護総合確保基金事業「地域連携・多職種協働周術期管理パス普及事業」の一環として行っております。



職種別内訳人数	
職種	人数
医師/歯科医師	25
薬剤師	5
看護師/助産師	66
理学療法士	6
管理栄養士	2
歯科衛生士	2
歯科技工士	2
臨床工学士	2
その他	5
合計	115

